

熊本の持続的な成長に向けて

2018年10月



肥後銀行

代表取締役頭取 笠原 慶久

うるおいある未来のために。

肥後銀行



昭和37年（1962）
1月5日生まれ
（満56才）

学 歴

昭和59年 3月 慶應義塾大学 経済学部 卒業

職 歴

昭和59年 4月 富士銀行 入行

平成19年 4月 みずほ銀行 熊本支店長

23年 6月 みずほ信託銀行 信託総合営業第一部長

26年 4月 同 常務執行役員

27年 4月 肥後銀行 常務執行役員 監査部長

28年 6月 九州フィナンシャルグループ 取締役（現任）

30年 4月 肥後銀行 代表取締役 副頭取

30年 6月 同 代表取締役頭取（現任）

趣 味

読書・スポーツ（テニス、ゴルフ、ジョギング）

囲碁（二段）・音楽鑑賞・絵画鑑賞

好きな言葉

「艱難汝を玉にす」「銀行の生命は信用にあり」



うるおいある未来のために。

当行のイニシャル「H」と「∞」をモチーフとしたデザインは、永遠に続くうるおいのサイクル“潤環”※を表現しています。また、中央のスクエアでつながる造形は、当行が環境やお客様といったさまざまな要素や事象をつなぐ存在でありたいとの思いを込めています。

※潤環：「うるおい（潤い）」と「循環」を組み合わせたオリジナル造語

1. 頭取就任にあたって
～チームワーク経営の3つの実践～
2. 熊本の持続的な成長に向けて

1. 頭取就任にあたって ～チームワーク経営の3つの実践～

(1) 現場重視のチームワーク経営
～企業理念の徹底と実践～

(2) 中期経営計画「新創業2020」
～お客様と地域のために～

(3) 2層のグループ力の結集

(1) 現場重視のチームワーク経営
～企業理念の徹底と実践～

(2) 中期経営計画「新創業2020」
～お客様と地域のために～

(3) 2層のグループ力の結集

**お客様と地域の発展に資する
最高・最適なサービスの提供**

**支店をはじめとする現場が、自ら考え、行動できる組織
《自主・自律・自発》**

**経営方針・
経営計画**

企業理念の徹底

**人材育成・
権限移譲**

肥後銀行は、お客様への最高・最適なサービスの提供を行うため、支店をはじめとする現場が、自ら考え・行動する「自主・自律・自発」の組織を目指します。経営はそのための指針を明確化するとともに、人材を育てる必要があり、その最大のバックボーンとなるものが、「企業理念」の徹底とその実践であります。

肥後銀行 企業理念

1. お客様第一主義に徹し、最適の金融サービスを提供します
2. 企業倫理を遵守し、豊かな地域社会の実現に積極的に貢献します
3. 創造性に富み、自由闊達で人間尊重の企業文化を確立します

(1) 現場重視のチームワーク経営
～企業理念の徹底と実践～

(2) 中期経営計画「新創業2020」
～お客様と地域のために～

(3) 2層のグループ力の結集

名 称	中期経営計画「新創業2020」
期 間	3年間（2018年4月～2021年3月）
基本方針 （テーマ）	お客様と地域のために ～創造的復興の実現に向けて～

目指す姿

経営品質の向上により、お客様第一主義を充実徹底し、
創造的復興の実現に貢献する銀行

- | | | |
|----------------------------|---|---|
| 基
本
的
考
え
方 | ① | <u>地域総合金融機能と地域産業振興機能</u> を発揮し、
お客様・地域の課題解決を実現する |
| | ② | <u>経営資源の有効配分とIT活用</u> により経営基盤を
更に充実強化する |
| | ③ | 一人ひとりが主体的 <u>能力開発</u> に取り組み、
多面的 <u>生産性を向上</u> させる仕組みを充実する |

課題解決支援銀行へ

お客様との関係性強化

重層的接点の強化

営業人員の増強

拠点の維持・チャネル拡大
移動店舗車・ネットサービス拡充

地域総合金融機能の強化

- ・銀・証・信連携によるワンストップサービス
～九州 F G 証券営業開始 (2018年4月)
- ・適切なリスクテイク
- ・多様な資金調達方法の提供
～ファンド、リース等

地域産業振興機能の発揮

- ・地域振興フェア、商談会の開催
- ・農業・観光振興支援
～くまもとDMC、香港「櫓杏」
- ・M & A、事業承継

人材育成とマネジメント力強化

IT 活用の充実

放送局

ビジネス教育会社

IT投資の積極化とともに、IT利用の積極化を進め、ITスキルを向上させ、お客様サービスにおいても、IT機器・機能をフル活用する“充実”を図ります。

ITスキル
向上



IT投資による
利便性向上



生産性向上

お客様向け ICT



ATMの機能強化

- ・住所・電話番号の変更
- ・インターネットバンキングの申し込み
- ・通帳繰り越し機能
- ・宝くじのご購入

いつでも! どこでも!
アプリでお支払い!!

ひぎんPayB



本格稼働

ひぎん PayB

- ・公共料金等の各種払込票のバーコード決済
- ・スマホでお支払い

インターネットバンキング

- ・インターネットで銀行の各種取引が可能。
- ・総合振込・給与振込等のデータ伝送サービス
- ・でんさいネットの利用

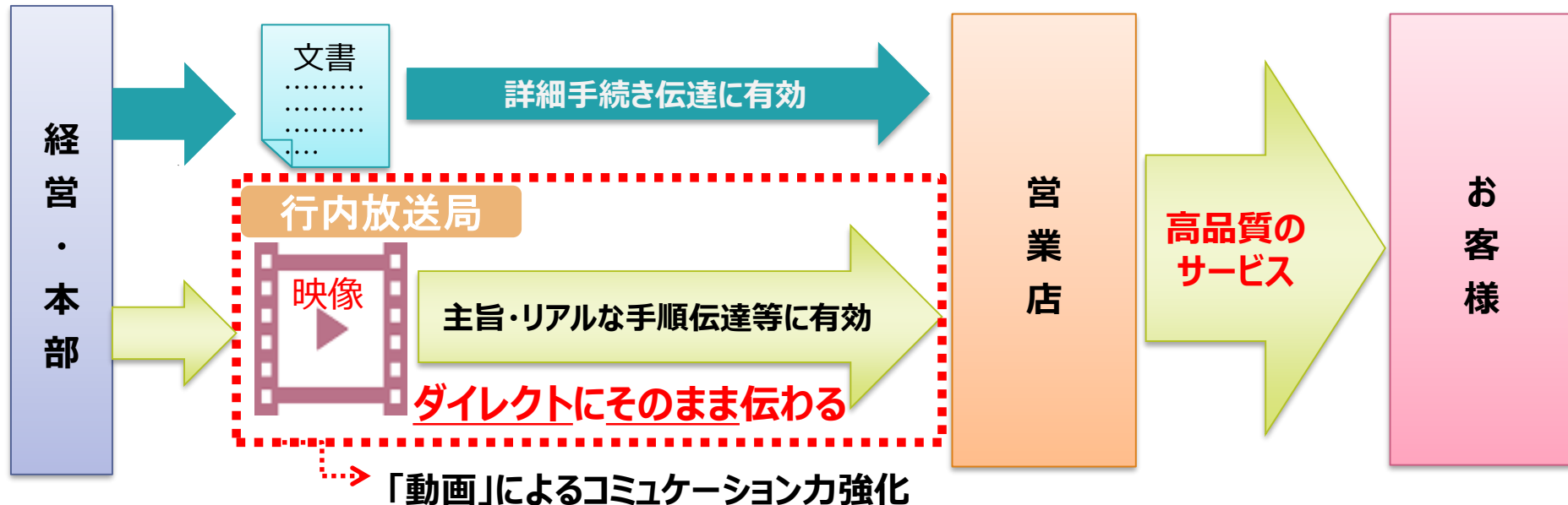


順次導入



店舗外受付事務の電子化

- ・店舗外での書類授受や各種申込み手続きにタブレット端末を使用



「動画」による知覚認識を活用し経営・本部と営業店間の
情報伝達の深化とスピードアップによる生産性向上を図る

「お客様との接点強化」「高品質のサービス」提供

- ・基本スキルである「**I Tスキル**」および「**ビジネスマナー**」の教育を強化
- ・階層、業務別での**事前教育体制**、課題解決支援力として**専門能力**を強化

肥銀ビジネス教育株式会社

当行グループの教育部門を集約

I T 教育部

I T システム教育

マイクロソフトOffice
をはじめとする
I T スキルレベル強化

キャリア開発部

階層・業務別教育

事前教育体制

専門分野

ビジネスマナー室

ビジネスマナー教育

礼儀・礼節

お客様との関係性強化

地域社会の持続的発展を支える人材の育成

(1) 現場重視のチームワーク経営
～企業理念の徹底と実践～

(2) 中期経営計画「新創業2020」
～お客様と地域のために～

(3) 2層のグループ力の結集

お客様や地域の課題（ニーズ）の解決

個社・個人に寄り添う One to One マーケティング

ワンストップでのサービス提供

銀・証・信連携

地域総合金融機能の高度化

コーディネート

地域産業の支援

地域産業振興機能の発揮

資源配分等を通じたグループ力の結集

外部
パートナー



九州フィナンシャルグループ



九州FG証券



はじめてよう、あたらしいコト。
鹿児島銀行



地域産業
支援会社

総合的に地域貢献する銀行グループ

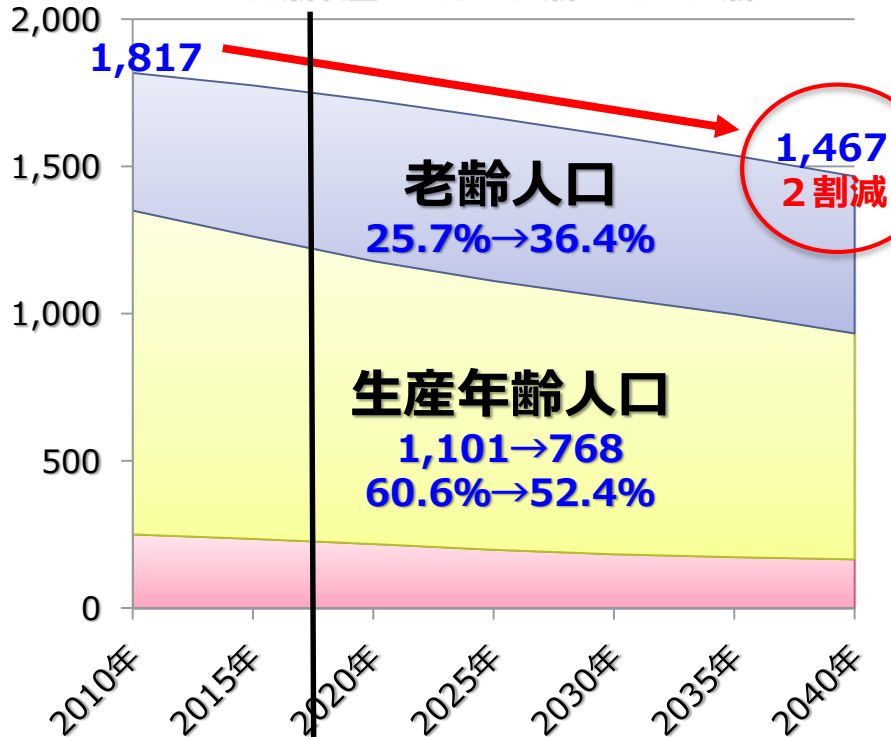


2. 熊本の持続的な成長に向けて

2 (1) . 熊本地域経済の課題～人口動態とG D P 推計

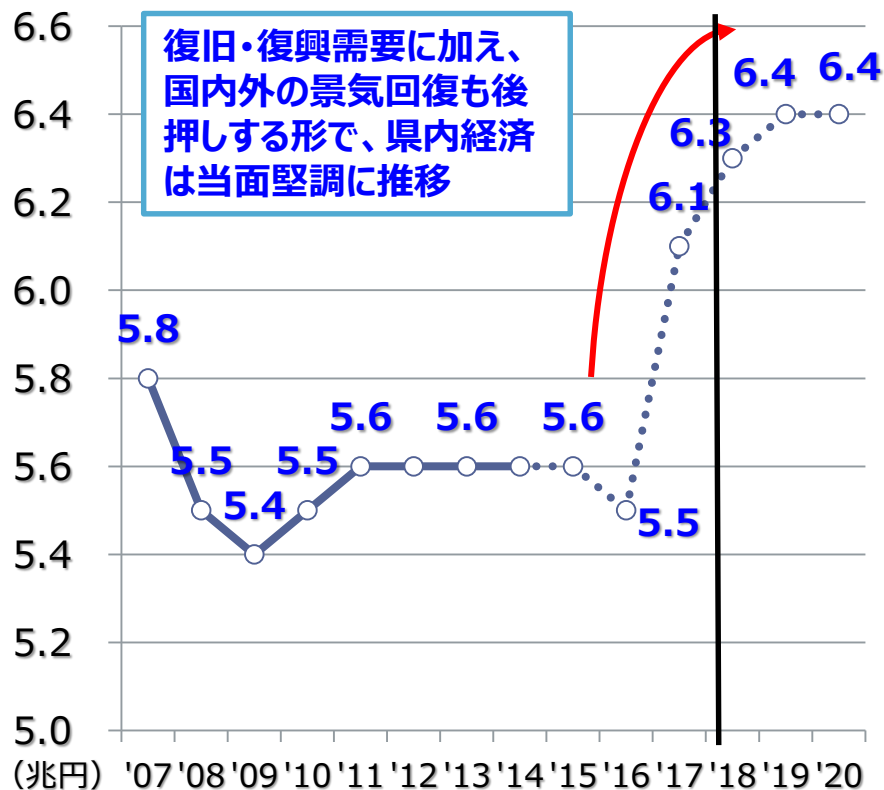
熊本県の人口推計 (千人)

■ 65歳以上 ■ 15～64歳 ■ 0～14歳



出所：国立社会保障・人口問題研究所

熊本県のG D P 推移予測

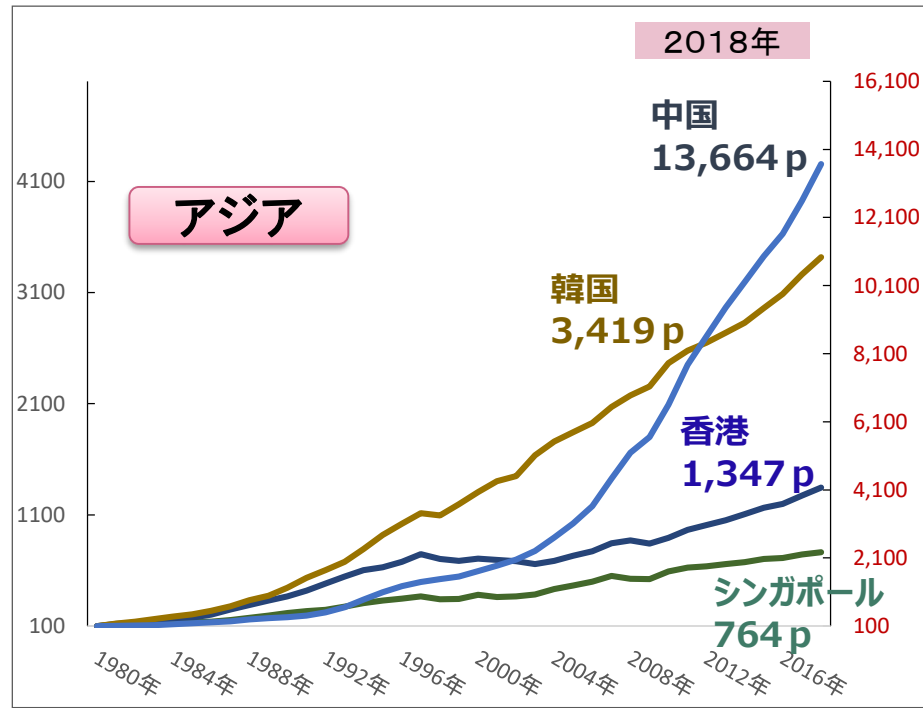
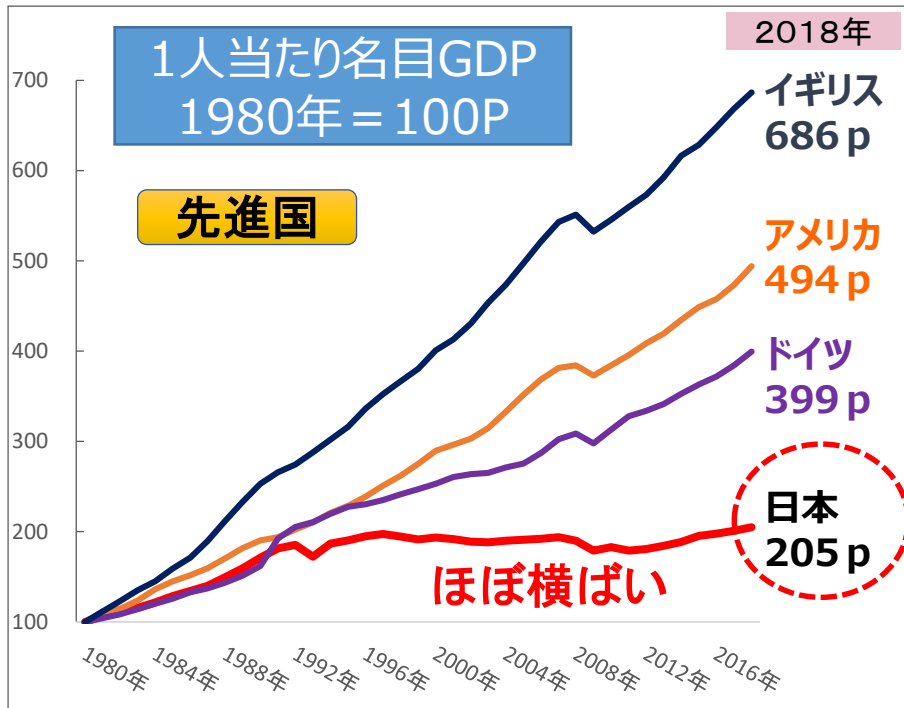


出所：県民経済計算（内閣府）

2015年度以降は地方経済総合研究所推計値

2 (2) . 諸外国の一人当たり名目GDP

◆1人当たり名目GDPの推移（自国通貨ベース）



◆2017年1人当たり名目GDP（米ドルベース）

<出典> IMF・World Economic Outlook Databases (2018年4月版)*

日本	熊本県	アメリカ	シンガポール	香港	ドイツ	イギリス	韓国	中国
38,440 (4,392千円)	27,024 (3,124千円)	59,501	57,713	46,109	44,550	39,735	29,891	8,643

日本の生産性は諸外国に比べ、上がっていない

我が国においてICT投資やICT人材育成が遅れた理由

- ①情報化が価値創出につながることへの認識不足
- ②資金制約およびBPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）市場が未成熟
- ③ICT投資と並行すべき広義の投資（組織改革や人的資本投資など）が不十分

（注）成長のためには、ICT投資のみならず、さまざまな仕組みの見直し（※）が必要

（※）「業務プロセスや組織の改革」、「研究開発」、「人材育成」など、所謂『広義の投資』

例えば第二次産業革命時における蒸気機関から電力へ、馬車から自動車へといった旧技術から新技術への転換期には、新旧の両技術が併存することに加え、（中略）新技術から新たな産業や雇用が生まれている。（中略）

組織や社会の様々な仕組みを見直すことまで含め汎用技術を活用し、生産性を向上させられるか否かでそれ以後の地域や国の経済成長は明暗が分かれてきたことは重要な教訓といえる。

私たちは、いま、ソサイエティ5.0と言われる産業革命の入り口にいる

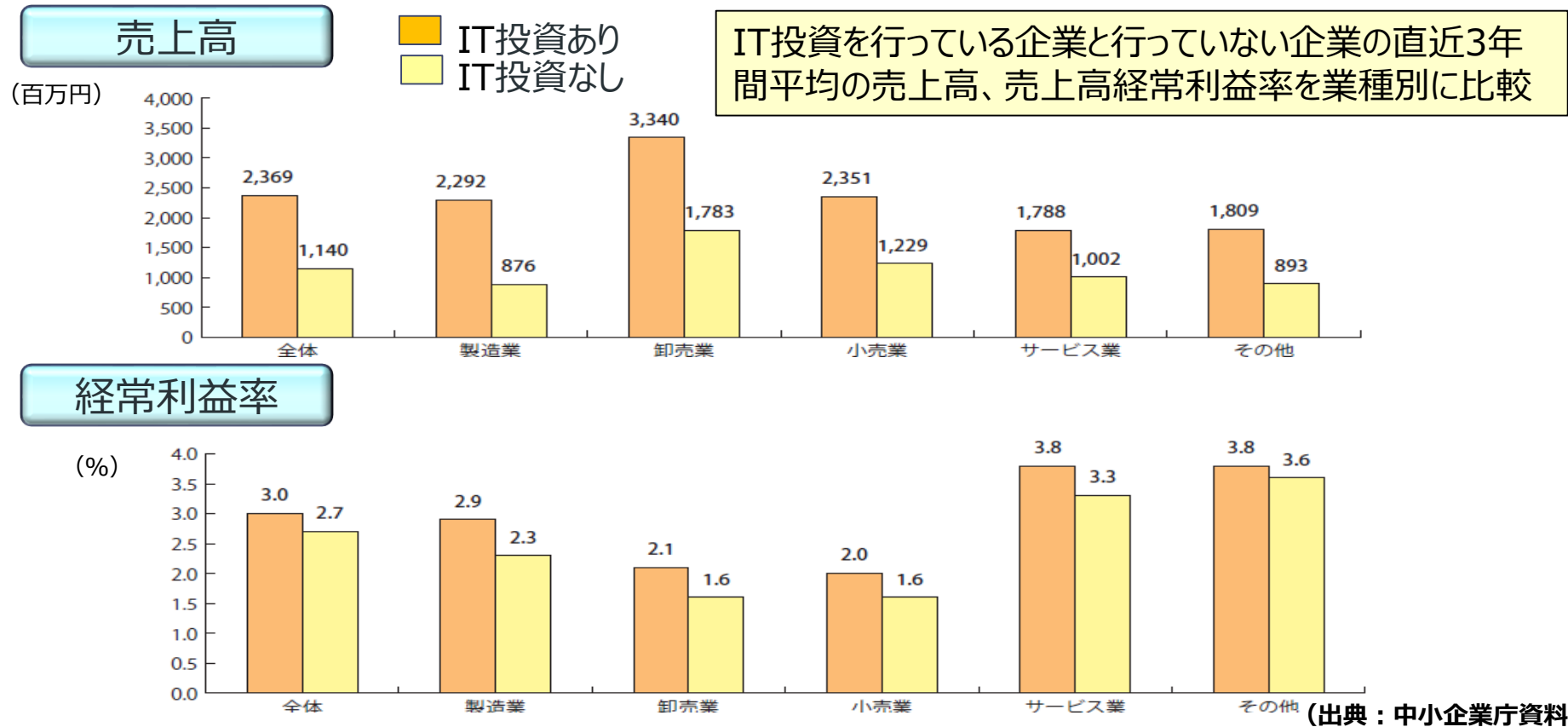
— 人口減少下における一人当たりの生産性向上のために —

「**地方の主力産業は**農業のほか、小売り、建設といった**中小の非製造業**だ。
労働集約型で、人工知能（AI）など新たに登場した技術を使って、**生産性を高める余地が大きい**。大企業の製造業は、機械化で生産性を高めている。
これからは地方の中小企業の方に生産性を劇的に高めるチャンスがある。」

「技術革新による生産性向上の負の面は、人間の仕事が失われることだ。
失業率が高いとき、生産性を上げると失業者をさらに増やすので危険だ。
しかし、**今の日本は人手不足なので、絶好のチャンスだ**」

（経営共創基盤CEO富山和彦氏のインタビュー記事より抜粋）

**人手不足の地方こそ、人材育成や
“ICT投資”などによる生産性向上が急務**



IT投資を行っている企業の方が、高い業績を上げている

肥後銀行および肥銀コンピュータサービスのICT技術により提供できる課題解決支援事例

決済事務

肥後
銀行

肥銀ビジネスインターネットバンキングサービス

肥銀
コンピュータ
サービス

代金回収サービス

コンビニ収納サービス

業務プロセス・お客様管理 ホームページ・セキュリティ

肥銀
コンピュータ
サービス

基幹システムソリューション

ニーズに応じた個別システムの開発

事務支援（BPO）ソリューション

セキュリティ・インフラ（クラウド）ソリューション

福利厚生

肥後
銀行

職域ホームページ「職場のまどぐち」

目標

熊本の持続的な成長 = 県民の幸福量最大化



一人当たり生産性を高め、地域全体の生産性を向上させることが必要



生産性向上に向け、地元企業による **I T 投資等積極的な設備投資**



企業の**利益率向上・業況改善**により、熊本の**G D P 向上**

好循環サイクル

地域の持続可能性＝地域の幸福度向上

(地域・お客様・従業員)

誇り(自然・文化・生きがい)

夢・希望

健康・安全安心

経済的な安定

好循環サイクルを実現

肥後銀行グループの持続可能性

IT活用の充実

放送局

ビジネス教育

中期経営計画「新創業2020」

企業理念

顧客関係性強化・課題解決支援

地域総合金融機能

(多様なサービス)

地域産業振興機能

(プロデュース)

私も、肥後銀行のトップとして、グループの役職員と一体となり、
金融面のみならず、皆様のよき相談相手となり、さまざまなお手伝いをし、
皆様、そして地元熊本の持続的な発展に貢献してまいりたいと思っております。
今後ともよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。



本件に関する問い合わせ先
経営企画部 広報室
TEL: 096-326-8601

うるおいある未来のために。

肥後銀行